

訪れた人を魅了する港

沼津港が観光地として注目を浴びるようになったのは、平成12年に「特定地域振興重要港湾」に選定されたことが転機となります。平成14年には、県とともに「沼津港振興ビジョン」を策定し、全国で初めて観光施設を併設した見せる市場「沼津魚市場INO」をはじめ、立体駐車場「ぬまづみなとパーク」やマーケットモール「沼津みなと新鮮館」などの施設整備が進み、平成19年には県内では初めて「みなとオアシス」に認定されました。

また、平成16年には津波被害が想定される港の後背地を守るために、地上から約30メートルの展望施設を兼ね備えた大型展望水門「びゅうお」が造られました。千本松原、霊峰富士、駿河湾が見渡せる360度の大パノラマはまさに絶景です。夜には、ライトアップを行うなど、昼夜を問わず人気の観光スポットとなっています。

沼津港では、ジャズや生演奏などが楽しめる「食と音楽」がテーマの「ぬまづ港の街BAR」をはじめ、大小のイベントが開催されるなど、訪れる人を飽きさせない取組が行われています。訪れた人たちが様々な形で魅了する沼津港。ぜひイベントにも足を運んでみてください。



お食事からスイーツまで、沼津をふんだんに味わうことができます。



見せる市場「INO」

セリ場や荷捌き等、衛生管理を取り入れた市場機能に、見学者通路、展望デッキ、食堂など観光要素を合わせた複合施設です。

近いからこそその楽しみ方

沼津港は人気の観光スポットであり、いつも観光客で混雑している印象があるかもしれませんが、沼津に住む私たちは、朝から訪れて新鮮な海の幸の朝食を食べたり、人気のお土産を買ったりと、混雑を避けて気軽に楽しむことができます。ちょっとした時間をずらすことで沼津港をいつも以上に満喫することができるでしょう。

また、迫力あるセリや水揚げの様子が見学できる「魚市場セリツアー」が早朝に開かれるなど、沼津の水産業を身近に感じられるイベントも開催されています。他にも「お月見茶会」など、しっとりとした夜の沼津港を楽しめるイベントもあります。

普段と違う顔を見せる沼津港を訪れ、市民ならではの楽しみ方を見つけてみませんか。

港に行くならこの時間がおすすめ!



10時前に行くと比較的空いています!

10時以前 10時~17時 17時以降  
沼津港混雑具合(目安)

沼津港と4つの漁協

それぞれの漁協では、地形などの特徴を生かした漁業を行っています。



沼津我入道漁協

まき網漁を取り入れて栄えてきました。現在は一本釣りによるタチウオ漁等が行われています。



沼津港

県内でも有数の水揚げ量を誇っており、サバ、イワシ、アジが多く水揚げされています。



静浦漁協

シラスを獲る船引き網漁等を行っています。最近ではワカメ等の養殖に力を入れています。



内浦漁協

静かな入江の地形を生かした養殖が盛ん。主にマアジやマガイの養殖が行われています。



戸田漁協

底引き網漁が古くから行われ、タカアシガニ等の多くの深海魚が水揚げされています。



深海の世界へ「沼津港深海水族館」

深海をテーマにした日本初的水族館。常時100種類以上の深海生物が展示されており、なかでも世界に類を見ない希少なシーラカンスの冷凍個体は必見です。



食べるもよし、休むもよし「沼津みなと新鮮館」

水産物はもちろんのこと、地元の野菜やお茶、刺身に欠かせないいわさび、スイーツなど飲食店やお土産屋さんが勢揃いしています。